

2

東京都台東区 台東区立上野小学校

インテリジェント・スクールの先駆的事例

- ・地域の生涯学習拠点としての複合施設
～地域の学校教育・生涯学習への意識・関心を高め合う施設
- ・明確な管理区分による防犯対策

- 学校規模／12学級 294名
- 複合施設(床面積)／小学校 (6,608㎡)
幼稚園 (464㎡)
社会教育センター (1,689㎡)
社会体育施設 (1,906㎡)
- 整備時期／平成3年
- 構造／RC造地上4階地下1階

施設整備に要した期間 (構想から工事まで)

昭和62年度：文部省インテリジェントスクール研究委託先
平成元年10月～平成3年3月：建設工事実施



小学校と社会教育施設をつなぐアプローチギャラリー

施設整備の背景

- ・清島小と下谷小の統廃合によりできた小学校。
- ・旧清島小に併設されていた社会教育施設と幼稚園との複合施設として整備。
- ・昭和62年度文部省インテリジェントスクール研究委託先。

管理・運営の体制

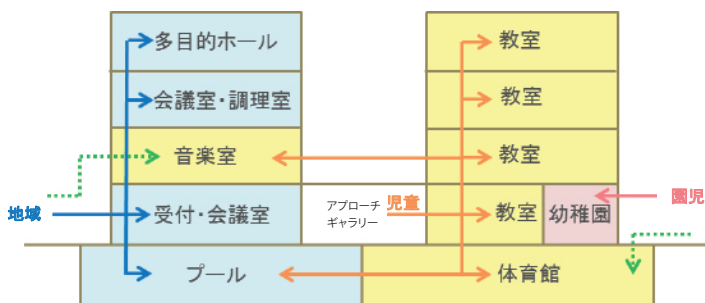
施設	利用時間 (平日)				所管	管理・運営
	8	12	17	22		
小学校	←————→				教育委員会	教育委員会
幼稚園	←————→				教育委員会	教育委員会
社会教育センター	←————→				教育委員会	指定管理者

- ・社会教育センターは指定管理者制度により民間企業が運営している。(施設全体の維持管理も同企業が請け負っている。)

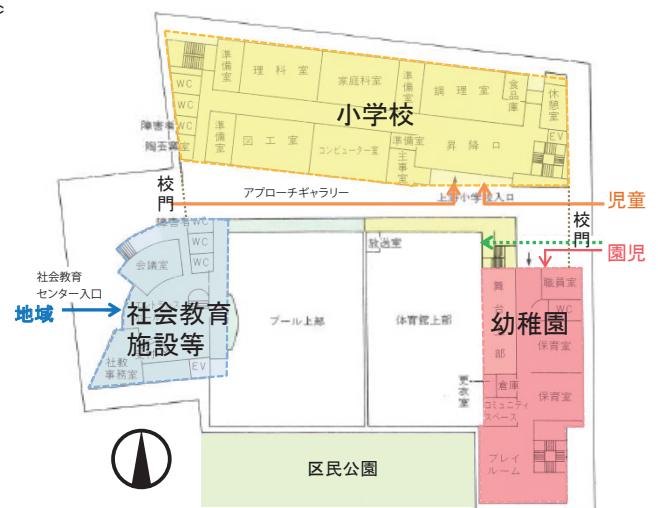
施設の配置・動線

- ・施設内において、小学校、幼稚園、社会教育施設等の区域は隣接しているものの、動線や利用時間を分けることで明確に区分されている。

<立面図>



<配置図>

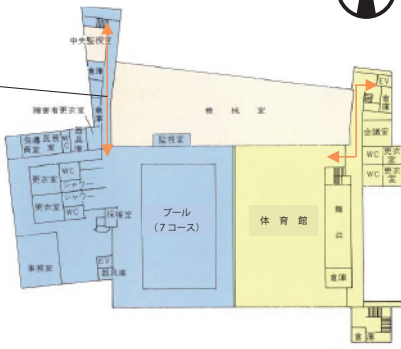


- 凡例
- 黄色 → 小学校
 - 赤色 → 幼稚園
 - 青色 → 社会教育施設・プール
 - 青線 → 地域
 - 緑線 → 学校開放

平面計画上の特徴

室内プール利用の際は、学校から直接行くことが可能

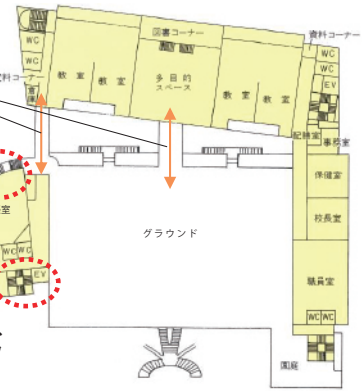
2F



音楽室・グラウンドへは渡り廊下を渡る

3F

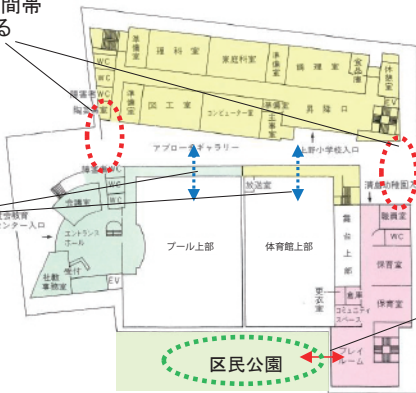
学校教育の活動時間帯は、一般の利用者は2階へアクセスできない



学校教育の活動時間帯は校門を閉めている

アプローチギャラリーの窓から、プールと体育館内での活動の様子が見える

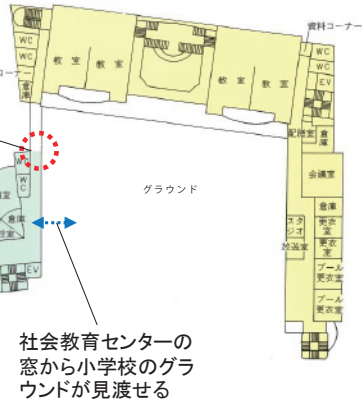
1F



隣接する区の公園を、園庭代わりに使用

4F

非常時のみ開放



社会教育センターの窓から小学校のグラウンドが見渡せる

凡例 小学校 社会教育センター 幼稚園 温水プール

児童と地域間の交流

- ・施設間での意識的な交流は少ないが、児童は日常的に地域の利用者が社会教育施設で活動する姿を見ることができる。
- ・社会教育センターからも学校の教育活動の様子が見える。



見える



毎日児童が通る昇降口前の窓からは、体育館やプール内の様子が見える。



見える



社会教育センターの窓から、校舎やグラウンドで活動する児童の様子が見える。

→相互の活動に対する理解・関心を高められている

財政面

整備費用を抑えることを目的とした複合化ではなく、施設間の設備の共有も少ない。(例：学校プールと区民プールを別に設けている。)

委員の意見より

- ・3つの施設が明確に分離され、防犯上の問題は少なく施設管理がしやすい構成。
- ・各施設が分離されていても、運営面の工夫により交流を活発化させることも可能。
- ・児童が、生涯学習を続ける地域住民の姿を普段から感じ取れる環境は、通常の学校では得難いものがある。

相互利用・活用

- ・小学校の音楽室は社会教育施設棟の2階にあり、学校教育の活動時間外には地域に開放をしている。
- ・幼稚園は専用の園庭を持っていないが、小学校のグラウンドと、隣接する台東区の清島児童遊園を利用している。
- ・区民プールは、小学校の授業でも利用が可能。



地域に開放している音楽室

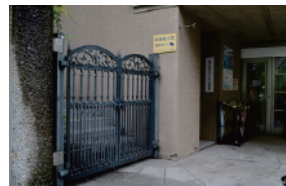


幼稚園から直接出られる隣地の公園

→公共施設を一体的に整備し共有することで、各施設の機能を有効に活用できている。

防犯面

- ・学校教育の活動時間内は学校の区域に一般の利用者が入れないように扉の施錠等、物理的な対策が取られている。



学校開放時にのみ開錠される入口(音楽室とグラウンドへつながる)



校門は登下校時以外は施錠している